

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 矢掛町立三谷小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒 714-1211
岡山県小田郡矢掛町東三成1423
E-mail daihyou@mitanisho.town.yakage.okayama.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 33 名 女子 42 名 合計 75 名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「児童にふるさとを愛する心を育て、ふるさとの自然を守るために環境問題を考え、ふるさとの環境を守るために自分の果たすべき役割を見つけて実行できるようにする。」を学校理念として、ESDを児童にとって必要かつ重要な教育と捉え、ESDの実践を通してこれからの社会を生き抜く力の育成を目標とした。

具体的には、環境教育、地域学習を柱に、①「地域で学ぶ」に係わる活動、②「地域の人と学ぶ」に係わる教育、③「地域の環境を考えて」に係わる学習を行った。

① 「地域で学ぶ」に係わる活動

矢掛町の史跡見学(矢掛本陣・吉備真備公園・囃勝寺・福武邸・茶臼山・洞松寺等)を、総合的な学習として、6年生が年間を通して単元を組み取り組んでいる。

学区内にたくさんの史跡があるため、自転車や徒歩で訪れることのできる

ところもたくさんある。史跡や文化財を訪れるときには、地域のボランティアの方に講師をお願いして、現地で学習を深められるようにしている。地域の文化財や史跡に触れ、ふるさとを愛する気持ちを育てるだけでなく地域の方とのふれあい（人とのつながり）を深める学習としてもとらえている。

② 「地域の人と学ぶ」に係わる教育

「やかげ学」として、毎週木曜日の午後、県立矢掛高等学校の生徒6名が来校し、各学年に入って交流をしている。また、地域の高齢者とのふれあい活動（竹とんぼ・お手玉作り・お飾りづくり等）も行い、地域の人とのつながりを大切にした学習をしている。

③ 「地域の環境を考えて」に係わる学習

6年生は、毎朝登校してすぐに、校舎前庭や運動場等の落ち葉掃きや草取り等の清掃活動を行っている。その姿を下級生が見て、また次の年へと引き継いでいっている。また、環境委員会の児童が地域の方の持ってきてくださる空き缶をつぶし、資源回収の活動に取り組んでいる。



①の写真（吉備真備公園訪問）



①の写真（福武邸訪問）



②の写真（お飾り作り）



③の写真（朝掃除）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(地域学習)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(課外)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

矢掛町の史跡見学の矢掛本陣・福武邸では、施設のパンフレットを使って学習した。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教科領域において、横断的に位置づけている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間計画の作成
外部との連携
発表（発信）の場の設定

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教育課程の反省の中で、振り返りを行っている。

（成果）

環境や歴史に関心をもつことができ、「ふるさと矢掛を愛する心」が育っている。また、地域との連携も密にできてきている。

（課題）

教育課程が過密化する中での時間の確保。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域の文化祭，椿祭りで発表している。地域から支持され，温かい支援につながっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

地域コミュニティとの連携を図っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

特になし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（２００字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

（３）平成 30 年度の活動計画（２００～４００字程度）

- 1 矢掛町で行っている「学びのポイントラリー」へ参加し、地域の人とふれあったり、地域について学んだりする。
- 2 やかげ学（矢掛高校の生徒との交流）で、地域の高校生と交流する。
- 3 矢掛町の史跡見学（矢掛本陣・吉備真備公園・囀勝寺・福武邸・茶臼山・洞松寺等）をし、地域のボランティアの方を講師にお願いしてふるさとを愛する心を育てる。
- 4 地域の高齢者とのふれあい活動（竹とんぼ・お手玉作り・お飾りづくり等）を通して、地域の人とつながる大切さを体験する。
- 5 栽培活動を行い、環境に目を向け、地域の美化につとめる。
- 6 空き缶・牛乳パックの回収、空き缶つぶし等を行い、環境問題への意識を高める。
- 7 地域の老人クラブの方と、牛乳パックを材料とした神楽のお面作りに参加し、環境問題としてだけではなく地域の高齢者等との人とのつながりを深める。
- 8 毎朝、校舎前庭や運動場周辺の朝掃除を行い、学校の環境美化につとめる。